

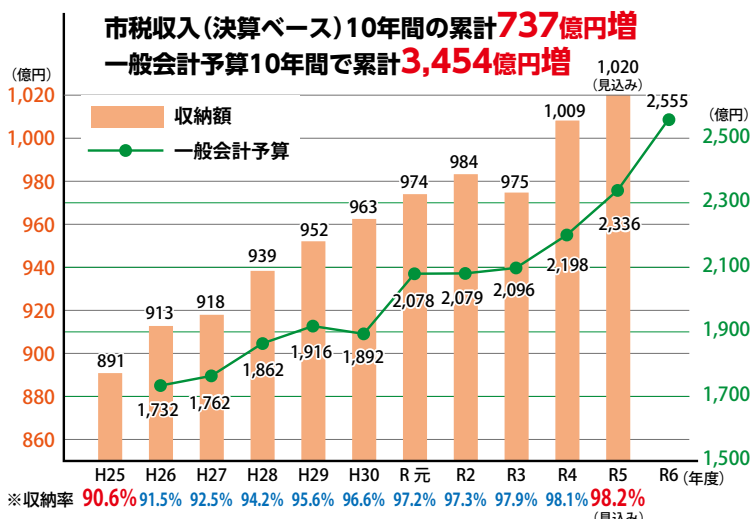
JR川口駅 中距離電車停車に向けた検討②

JR川口駅の課題である、通勤・通学時や列車の遅延・運休時における混雑の発生に対応するため、令和4年11月にJR東日本と締結した、「中距離電車のホーム増設に向けた調査協定」に基づく調査の結果報告を受け、現在JR川口駅への中距離電車の停車に向けて、事業計画や事業費などに関する具体的な検討を進めています。今回は、中距離電車の停車に関する財政的な検討状況をお知らせします。

財政健全化で高めた財政的な体力

本市では、直近10年間で**市税の収納率の向上(90.6%→98.2%)**を図ることにより、平成25年度と比較した増額分を累計すると**737億円**の**市税収入を増加**することができました。

他方、一般会計予算の規模は、平成26年度と比較して**1.48倍**、また、平成26年度と比較し、令和6年度までの10年間の累計で**3,454億円**の**増**となるなど、質の高い行政サービスを提供することが可能となっています。



災害対策



雨水貯留管、調節池等の整備
(平成25年度から23カ所を整備)

待機児童対策



保育所等の定員拡充
(平成25年度6,237人から
令和6年度12,298人に拡充)

教育環境整備



市内全小・中学校教室へのエアコン
設置

3大プロジェクト



新庁舎建設事業、イナパーク川口
(赤山歴史自然公園)整備事業、川口
市立高等学校建設事業

将来人口の推移

本市は、2018年の調査では2030年に人口のピークを迎えるといわれていたところ、さまざまな施策を展開してきたこともあり、人口のピークが後年にずれ、**直近の調査では2035年まで人口増加を維持**することができると見込まれています。

2018年推計

年	総人口(人)	指数(%)※
2015年	578,112	100.0
2020年	589,253	101.9
2025年	594,768	102.9
2030年	596,282	103.1
2035年	595,017	102.9
2040年	591,906	102.4
2045年	587,179	101.6
2050年		

※総人口の指数(%) (2015年=100とした場合)

2023年推計

年	総人口(人)	指数(%)※
2015年		
2020年	594,274	100.0
2025年	602,313	101.4
2030年	605,418	101.9
2035年	606,590	102.1
2040年	605,949	102.0
2045年	603,610	101.6
2050年	599,667	100.9

※総人口の指数(%) (2020年=100とした場合)

出典：川口市の将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)

概算事業費と財源の検討

中距離電車のホーム増設と、駅舎の改修に関する事業費は**約400億円**前後を想定しており、その財源は、**世代間の公平の観点**や、**事業効果が現れるタイミング**などを踏まえ、市債



や基金、各種補助金を活用することにより、**長期的・計画的に支出することが重要**であると考えています。

本市は、「**住みやすいまち**」として高い評価を得ており、将来的なさらなる人口集積に併せ、**未来への投資となる取り組み**を進めることにより、「**さらなる選ばれるまち**」を目指していきます。

次号では、中距離電車停車に伴うJR川口駅の施設整備の検討状況を掲載する予定です。

問い合わせ…都市計画課 ☎048-242-6332 FAX048-285-2003